

# まちの話題

## 多彩なイベントを開催中

### 第18回梅まつり

冠山総合公園・梅の里で3月6日まで「第18回梅まつり」を開催しています。



6日のオープニングセレモニーでは、「光よちよ連」と「光かがやき隊」、「YOSAKOIやまと連」によるよさこいや光井小太鼓クラブによる太鼓の演奏、もちまきなどが行われ、多くの人でにぎわいました。また、11日に行われた「第4回飛梅大会」では、参加者が種を飛ばすたびに会場は大きな声援に包まれました。

梅の見どころがもうしばらく続きそうです。皆さん梅の甘い香りを楽しみながら、春の訪れを感じてみませんか？

なお、「第4回飛梅大会」の結果は次の通りです。

- 小学生未満の部  
木村佑希也さん 4 m 65 cm  
小学生の部  
小川正宏さん 8 m 38 cm

## 文化財を守るために

### 文化財の防火査察

光地区消防組合消防本部では、1月25日および26日、賀茂神社の朝鐘や、早長八幡宮祭礼の山車と踊山、石城神社本殿や旧伊藤博文邸など、文化財の防火査察を実施しました。

これは、1月26日の「文化財防火デー」にあわせて、文化財の火災予防を推進し、防火意識の高揚を図るために毎年行われているものです。

石城神社では、火災報知機の設置状況や管理状況の確認、そして実際に火災報知機を作動させての自動放水銃の作動点検などを行い、また、旧伊藤博文邸では、自動火災報知設備の作動点検、消火器の設置・保守点検の状況確認などを行い、万が一に備えました。



## 貴重な異文化体験に

### アジアの国の音楽に親しもう

#### 〜ガムラン〜

アジアの国の音楽に親しみ、国際理解を深めようと1月18日、周防小学校で「ガムラン」の体験授業が行われました。ガムランは、木琴の祖先と言われる旋律打楽器と、太鼓などの合奏音楽で、インドネシアのバリ島で冠婚葬祭や成人式などの時に演奏されるものです。

「山口バリガムランの会」のメンバー6人の演奏後、子どもたちは自分も興味のある楽器を選び、即興で演奏しました。「楽しかった。」「もう一回やりたい。」「日本の楽器とは異なる楽器に触れ、貴重な異文化体験になったよかったです。」



## 新しいまちを考える

### 第1回光市女性のつどい

1月29日、合併後、初めての「光市女性のつどい」が市民ホールで開催されました。アトラクションは、東荷神舞・巫女舞保存後援会と、東荷小学校5・6年生による「東荷神舞」。「恵比寿舞」ほか3演目が披露され、東荷地区の伝統芸能にふれることができました。

続いて、光市出身の福田勝洋さんによる講演と、福田さん率いる劇団「東京地下鉄劇場」による演劇「遠い約束」おじいさんのタイムカプセル」を上演。故郷を離れ東京で活躍する福田さんの、ふるさと「光」に対する思いを感じ取ることができ、あらためて新市について考える良い機会となりました。



## 石城の昔話を皆さんに伝えたい

### 「石城のむかし話」等の寄贈

1月21日、塩田の谷千寿子さんから市立図書館に、石城山に残る言い伝えや風習をまとめた手づくりの冊子「石城のむかし話」と「石城の風習」18冊の寄贈がありました。

谷さんは、石城神社や八合目辺りを囲む神籠石など歴史史跡の宝庫である石城山に結婚するまで暮らされ、親から子へと代々語り継がれてきた昔話や、子どもの頃に見聞きした体験を冊子にまとめられました。谷さんは、「合併を機に、光地域の皆さんにも石城山の昔話を知ってもらいたい。」「今回寄贈することになったことで、まだまだ書きたい話がいっぱいあります。いつかは1冊の本にまとめたい。」「と語っていました。」



## 鼓笛隊で「火の用心」を呼びかけよう

### 幼年消防用鼓笛隊セットの交付式

地域の皆さんに元気いっぱい防火を呼びかけてもらおうと、2月8日、光地区消防組合消防本部から虹ヶ丘幼児学園に幼年消防用鼓笛隊セットの交付が行われました。これは、同組合が財団法人日本防火協会の幼年消防用活動資器材助成事業（宝くじの受託事業）を受けて整備したものです。

子どもたちは思い思いに楽器を手に取り、即興で園歌を演奏。「太鼓をたたくのは楽しい。」「なんか気持ちいい。」など大喜びでした。